

静的咬合から動的解析へ Jaw Motion Module

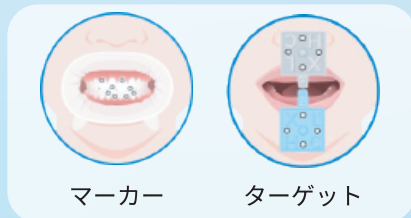
患者固有の顎運動データをリアルタイムに取得し、
補綴・スプリント・TMD診断・インプラント設計に活用できる新しいモジュール。

■ 下顎運動軌道記録 (Optimal Jaw Relation)

上顎と下顎の動的な咬合接触点(側方運動時の早期接触&偏心位の咬合干渉)を十分に考慮した上で補綴物をデザインし、調整を繰り返す必要がなく、Optimal Jaw Relation(下顎列運動スキャン)機能により、医師は患者の下顎運動の軌跡を素早くキャプチャし、その後の設計のために顎運動ファイルをエクスポートすることができる。

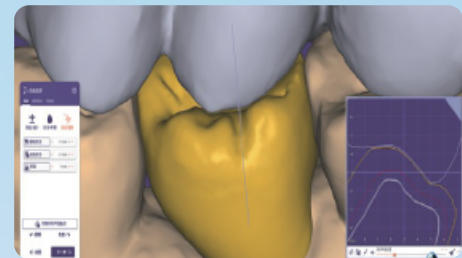
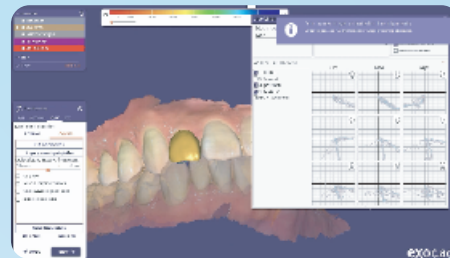
2種類の取得方法

基本的な下顎運動の取得が可能



下顎の動きで調整

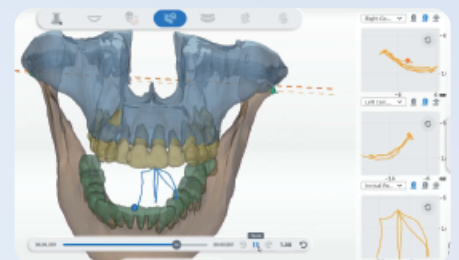
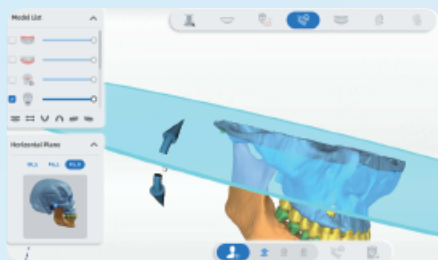
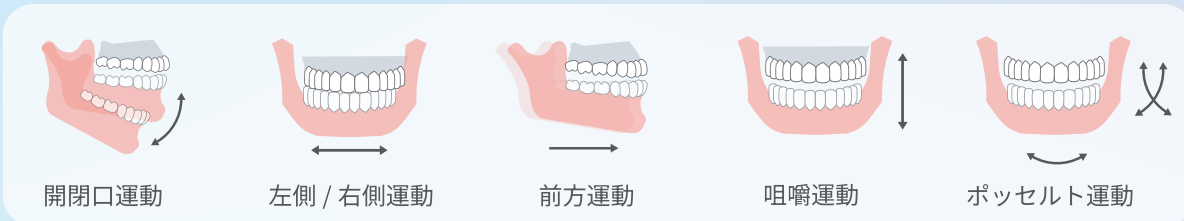
exocad®
にエクスポート



■ 下顎運動軌跡分析 (Mandibular Movement Trajectory Analysis)

The Mandibular Movement Trajectory Analysis (下顎運動軌跡分析モジュール) は、CBCT (DICOM)データのインポートをサポートし、顎部と切縁の3D運動軌跡をリアルタイムで視覚化し、機能的な動きを明確に理解するために2Dビューに投影し、カスタマイズされた軌跡分析レポートを生成する。

下記の下顎運動軌跡の記録が可能

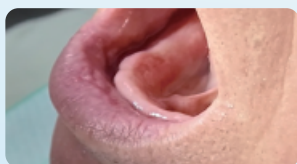


矢状面、前頭面、水平面などの標準的な解剖学的プレーンを選択し、軌跡はこれらのプレーン上にリアルタイムで再現される。

■最適顎関係確定

無歯顎

咬合関係再現、患者様に対して正確で顎位関係を記録でき、顎関節の安定化を図るため記録した顎位データを考慮した上で義歯とインプラント計画、インプラント上部構造を製作する。



総義歯



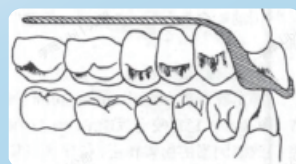
フルマウスインプラント
(ALL-ON-X)

有歯顎

顎関節症（TMDなど）、咬合関係（咬耗）、機能（咀嚼筋痛など）の患者様に対して正確で顎位関係を記録でき、顎関節の安定化を図るため記録した顎位データを考慮した上でスプリントを製作し、後ほどの矯正治療の成功率を高めることにも繋がる。



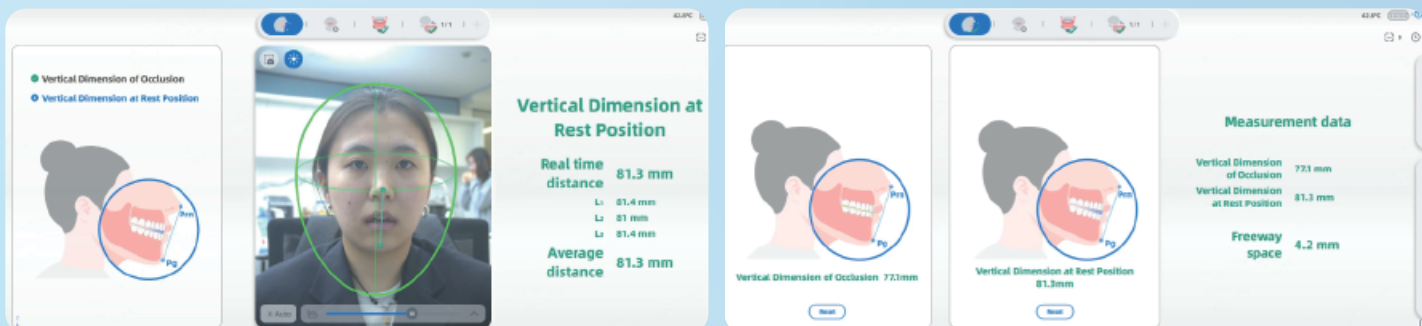
前方整体位型



前歯接触型

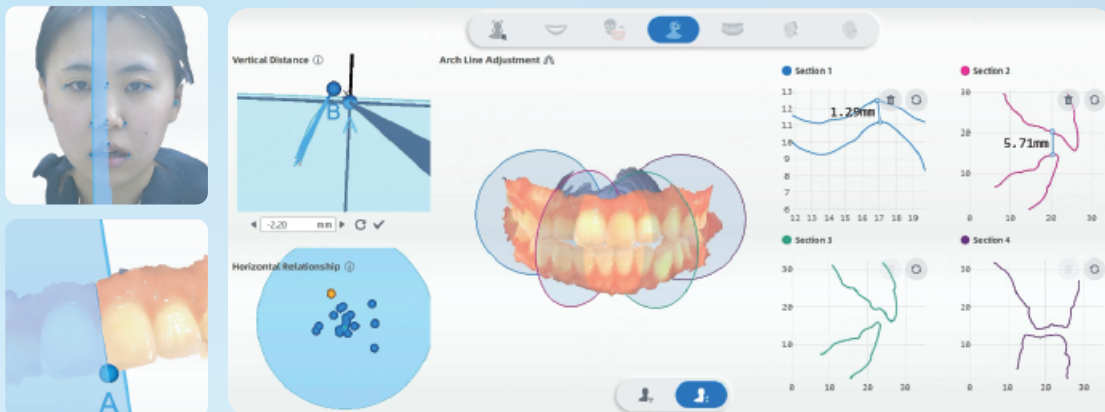
■安静空隙の確定

オクルージョンの垂直的咬合高径と中心位の垂直高径を測定し、フリースペース（安静空隙）を計算。



■咬合関係の確定

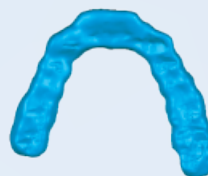
30回の咬合関係から最も重複性の高い咬合位置を割り出す。



■スプリントの作製

筋肉痛、関節痛、クリック音などに悩む患者さんに対して最適な咬合関係での製作が可能。

exocad®
にエクスポート



ホームページ

製品情報

